

何かが始まる予感がして、

心臓が鳴った――。



花束みたいな恋をした

菅田将暉 有村架純

脚本 坂元裕二「カルテット」「いつかの恋を思い出してきっと泣いてしまう」「東京ラブストーリー」
監督 土井裕泰「カルテット」「いま、会いにゆきます」「隼の声」

清原果耶 細田佳央太

韓英惠 中崎敏 小久保寿人 瀧内公美 / 森優作 古川琴音 篠原悠伸 八木アリサ

押井守 Awesome City Club PORIN / 佐藤寛太 岡部たかし

オダギリジョー / 戸田恵子 岩松了 小林薫

撮影：鎌井洋一 照明：林山恵二 美術：杉本 亮 装飾：渡本 豊 撮影効果：栗原康之 録音：加藤大和 編集：櫻川順之助(J.S.E.) 音楽：大友良英 衣装：立花文乃 ヘアメイク：豊川京子
スクリーン：加山くみ子 イラストレーション：朝野ベコ VFXプロデューサー：赤羽智史 助監督：石井 純 製作担当：宮下直也 企画：篠 家邦 菊地英則志 塚須田 淳 プロデューサー：有賀高俊 土井智生
インスパイアソング：「勿忘」Awesome City Club(cutting edge)

製作：TBSスパークル、東京テアトル、テレビ東京、ジェイアール東日本企画、フラム、CBCテレビ、MBS、朝日新聞社、KDDI、テレビ大阪、BSテレビ東京、TCエンタテインメント、フィルムメイカーズ、リトルモア

製作プロダクション：フィルムメイカーズ、リトルモア 配給：東京テアトル、リトルモア

助成：●スポンサー 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 東京都庁文化振興費 ●2021「花束みたいな恋をした」製作委員会

いまを生きるすべての人へ――

坂元裕二脚本で贈る、終電後に恋に落ちた2人の忘れられない5年間。

藍住町シネマサロンVol.2 2021年9月11日【土】 藍住町総合文化ホール

脚本家・坂元裕二が、菅田将暉、有村架純と共に打ち上げる、共感度100%のラブストーリー。

「東京ラブストーリー」(91)、「Mother」(10)、「最高の離婚」(13)、「Woman」(13)、「いつかこの恋を思い出してきっと泣いてしまう」(16)、「カルテット」(17)、「anone」(19)など、常に私たちの心を捉えて離さない多くの連続ドラマを手掛けてきた脚本家・坂元裕二が、2020年の東京を舞台に、今を生きるすべての人へ贈るため書き下ろした最新作。「東京タワー 〜オカンとボクと、時々、オトン〜」「舟を編む」などの製作陣が手掛ける本作、主演を演じるのは、菅田将暉と有村架純。二人の実力派俳優による「初のダブル主演」が実現しました。監督を担うのは、「罪の声」(20)の土井裕泰。「いま、会いにゆきます」(04)、「ハナミズキ」(10)、「映画 ビリギャル」(15)など多くの大ヒット映画を送り出して来た土井は、ドラマ「カルテット」で坂元裕二と組んで以来、映画では初タッグとなります。

東京・明大前駅で終電を逃し偶然に出会った、妻と絹。

バイト、同棲、就活。いつでも二人で一緒にいた20代のぜんぶが、ずっと楽しかった。

猛スピードで加速する恋の忘れられない「最高の5年間」を描く、不滅のラブストーリー誕生。

東京・京王線の明大前駅で終電を逃したことから偶然に出会った山音麦(菅田将暉)と八谷絹(有村架純)。好きな音楽や映画が読みたいと一緒に、あつという間に恋に落ちた妻と絹は、大学を卒業してフリーターをしながら同棲を始める。近所にお気に入りのパン屋を見つけて、拾った猫に二人で名前をつけて、渋谷バルコが閉店しても、スマスマが最終回を迎えても、日々の現状維持を目標に二人は就職活動を続けるが…。まばゆいほどの輝めさと、胸を締め付ける切なさにも包まれた「恋する月日のすべて」を、唯一無二の言葉で紡ぐ忘れられない5年間。最高峰のスタッフとキャストが贈る、不滅のラブストーリー誕生!

——これはきっと、私たちの物語。



藍住町シネマサロンVol.2

日時・2021年9月11日(土)

①10:30～12:34 ②14:00～16:04

*日本語字幕付きで上映します

場所・藍住町総合文化ホール

(徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1)

主催・藍住町シネマサロン実行委員会

共催・藍住町総合文化ホール

お問合せ:TEL088-637-3344 (藍住町総合文化ホール)

前売り券販売中

1,000円

当日券

一般・・・1,300円
シニア(60歳以上)・・・1,000円
小・中・高生・・・1,000円

*前売り券販売所・藍住町総合文化ホール